

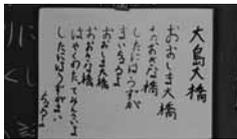
児童が
実際に作詩しました

作詞家による 作詩教室が開催されました



※1 桜澄舎 (おうちょうしゃ)
星野哲郎さんが自宅の一間を提供して主宰した作詞家達の集まり。門下生は10名。

※2 アクロスティック (折句)
詩の句頭などに、別の意味を持つ言葉を織り込む言葉遊びの一種。



▲早速、アクロスティックで作詩した班も。頭文字を並べると大島大橋になる。



▲テーマには周防大島ならではの、7つのテーマが出されました。

2月10日、城山小学校で5・6年生を対象に、作詞家による作詩教室が開催されました。平成22年9月に現在の5年生が4年生の時に作った詩を、星野哲郎さんに送ったのがきっかけとなり、星野哲郎音楽事務所「紙の舟」の企画で開催されました。

講師は現在、星野哲郎記念館で特別記念展を開催(3月27日(火)まで)している。講義の後には、児童自身に、周防大島に関するテーマを考えてもらい、自分が

る『桜澄舎』(※1)の作詞家、高田ひろおさんと紺野あずささん。

作詩したいそれぞれのテーマでグループに分かれて、作詩の作業に取り掛かりました。なかなか思いつかない詩も、講師のアドバイスにより、徐々に仕上がっていき、最後にみんなの前で各グループごとに発表しました。



《作詩教室を終えて インタビュー》



『船』というテーマで作詩した
中川海里くん(6年生)
船の気持ちになつて、擬態語などを使ったので、いい詩ができたと思います。



作詞家
紺野あずさ・高知県出身
〈代表作〉時雨の宿

詩をつくる姿を見ていて、児童からたくさん元気を感じました。これからも詩を作り続けて、すてきな大人になってほしいです。



作詞家
高田ひろお・北海道出身
〈代表作〉およげ!たいやきくん

児童の作品をみると、どれもすばらしく、きつと心が豊かなんだと感じました。周防大島からたくさん詩人がでる気がしました。